

「湘南の七福神めぐり」③相州小出七福神 解説

池内・今井・岡村・小林・為田・田中・弥勒寺

第三回目七福神めぐりは、茅ヶ崎市最北部にある小出地区の「県立茅ヶ崎里山公園」周辺の寺社に点在する七福神を訪ねます。出発地の最寄り駅は、JR 茅ヶ崎駅となります。第一カッターきいろ公園(茅ヶ崎中央公園)内に建つ野口雨情の記念碑を横目に、公園の縁に沿って北に向かいます。

JR 相模線の踏切を渡り、「一里塚北通り」を北に向かいます、歩道はあるものの、道幅狭く交通量が多いので、十分注意して歩いて下さい。

新湘南バイパスを赤羽根信号で潜り、松風台団地方面に向かって歩く。やがて小さな甘沼北根公園内を横切る。木陰で給水がてら一休みしよう。茅ヶ崎公園からここまで約 4km、40 分程の距離だ。

スリーハンドレッドクラブゴルフ場の小さなトンネルを潜る。ここからゴルフ場の中を通り抜ける、松や広葉樹が繁る木陰の小径を吹き抜ける風が、心地良い。ゴルフ場を通り抜けると、開けた田園地帯になり、右手に大岡越前守で有名な浄見寺の麓が見えて来る。今日は浄見寺にはゆかず、2022年7月開館の「茅ヶ崎市博物館」を訪ね、ここでトイレ休憩します。この博物館、大岡越前通りと名付けられた県道に面して建てられ、素敵な施設となっています。給水タイムを利用して、茅ヶ崎の歴史を学びたい。

博物館側から東へ 200m程に「正覚院(しょうがくいん)曹洞宗(布袋尊(福寿財宝))」があるから、参拝しよう。入口に大きな大理石の布袋様が置かれている、本尊は釈迦如来像。

大岡越前通りに戻り、向きを変えて西へ 200m程で左へ野道に入る。北陽中学校を回り込むように北へ辿ると県道の「小出中央通り」に出る。道の向かい側が「白峰寺(はくほうじ)曹洞宗(寿老人(延命長寿))」だ。大きな古刹で室町時代の、天文 13 年(1544)開山、大正 14 年火災により堂塔伽藍を焼失してしまった、本尊釈迦牟尼仏。

この先は非常に迷いやすい畑の野道で、慎重にチョークを辿って行きます。畑の急坂を下りきると「宝蔵寺(ほうぞうじ)曹洞宗(大黒天(有福蓄財))」に着きます。一旦西に道を分け、今度は小出川沿いに北へ向を変える。臼久保集落の中に隠れるようにして「来迎寺(らいごうじ)浄土宗(恵比寿神(福富繁栄))」が佇んでいる。この辺りでは珍しく浄土宗であるが、永禄 7 年(1564)開山の古いお寺である、本尊は阿弥陀如来様。こんもりした木々に囲まれて、涼しい風が吹きぬけるからゆっくり休みしたい。

次のお寺は 10 分程の所に在る「蓮妙寺(れんみょうじ)日蓮宗(弁財天(芸能財福))」だ。弁天さんだけあって、放生池の中の小さなお堂に収まっている。もとはインドの水神様であるからピッタリだね。元亀 3 年(1572)小田原にあった蓮成寺をここに移したもので、開山は日殿上人、本尊は三宝四菩薩。この辺りは田植えを終えた田園が広がり、小出川の河岸段丘の裾に位置する、お寺の隣には 3500 年前縄文時代後期の遺跡が発掘されている。

さらに畑の中の道を通り抜けて行くと、ひょっこり腰掛神社の前に出る、何とも面白い名前であるが、12 代景行天皇の皇子「倭建命」が東征の砌、この地を通り、ここで一休したと云う伝説に因んで、社が生まれたと伝える。その腰掛石が神社の中にある。

ここからゴールまでは南に進路を変える。芹沢集落から県立里山公園の、丘の村北と言う場所に出て、公園の縁に沿って歩く。やがて大岩で囲まれた「善谷寺(ぜんこくじ)曹洞宗(福祿寿(知恵財運))」に出る。天正 6 年(1578)創建、本尊は釈迦牟尼仏。境内の石造り恵日観音が一際目立つ。

かなり急な県道を上り、小出小学校前に出て、小出信号際から南下、バス道路を下らず昔からの集落の道を下ってゆく。多くの大樹に囲まれた旧道を歩くと、暫くの間都会の喧騒を忘れさせてくれる。堤坂下信号前でバス道と合して、一旦大岡越前通りに出る。バス道路を東へ 10 分、最後のお寺「妙伝寺(みょうでんじ)日蓮宗(毘沙門天(勇氣授福))」山門前に着く。日蓮様の銅像が本堂の傍らに鎮座している。妙伝寺で七福神は総て参拝完了です。ゴールはこの先 200m 左手の市民の森です、トイレも休憩場所も完備していますから、ゆっくり休んでください。

駅への帰り道は、県道を更に東へ歩く。堤東原交差点に出て今度は南へ方向を変える。大庭台墓苑の西側を通り、宝積寺南側で新湘南バイパスを潜り、小和田で大山街道を横切ると JR 辻堂駅は指呼の間にある。

完



正覚院



白峰寺



宝蔵寺



来迎寺



蓮妙寺



善谷寺



妙伝寺



茅ヶ崎市立博物館